

## チャレンジスクールの日々

## 「子どもの発達と保育」の授業を通して

片岡知子

(高校教諭)

## チャレンジスクール

私は都立のチャレンジスクールに勤めています。この学校は小中学校で不登校を経験したり、高校を中退したりした生徒など多様な生徒の受け入れを想定して2000(平成12)年に都立高校として初めて開設されました。生徒が自分の夢や目標を考え、それに向かって再チャレンジすることを支援する、単位制の昼夜間三部制の定時制高校です。

私は2011(平成23)年にこの学校に異動し、今年で11年目になります。今は夜のクラスの担任をしています。異動した当時は制

服がなく、生徒は思い思いの服装でやって来ました。中にはアニメのキャラクターになりきっている生徒もいました。それは一種の鑑なのかなと思います。今でも髪を緑や金色に染めてくる生徒もいます。頭髮や制服の指導の厳しい学校から来た私は、「いい学校だなあ」としみじみ思いました。靴は一足制で靴箱はありません。クラスの教室はなく、授業ごとに教室を移動します。チャイムもありません。静かな学校です。生徒がいるのか不安になるほどです。ホームルームクラスは15〜20人ほどで、学校には6年間在籍できます。ボランティアや検定で単位を取ることもできます。

私は家庭科なので「子どもの発達と保育」の他に「リビングデザイン」「家庭基礎」「生活と福祉」「ファッション造形基礎」「フードデザイン」を受け持っています。

### 「子どもの発達と保育」の授業

「子どもの発達と保育」は、週に1回90分の授業（途中5分の休憩）です。選択授業なので2年生以上で取ることができます。

一年間の授業の山場は保育実習です。近くにある保育園に11月と1月に1回ずつ行っています。1回目は観察で2回目は実習です。実習といってもおやつ後の時間に生徒が何か出し物をするのです。入らせてもらうクラスは2歳児2クラス、3歳・4歳・5歳児が各1クラスです。生徒は希望のクラスに入ります。大体2歳児は2人、3歳・4歳児に3人、5歳児に3〜5人です。5歳児の部屋は広いので人数調整ができます。生徒には小さ

い子のクラスが人気ですが、行ってみると一番楽しく遊んでいるのは5歳児のクラスです。授業は2時50分〜4時25分なので、保育園はお昼寝から覚めておやつを食べている時間です（2歳児クラスはおやつを食べているのを見るだけで終わってしまうこともあります）。

実習のときには保育園の先生がおやつを早く終わらせて、生徒が来るのを待っていてくれます。生徒は引っ込み思案な子が多く、声も小さいのですが、園児たちの反応は素晴らしい、生徒の声もだんだん大きくなります。5歳児クラスは生徒と自由遊びもできて、見ても楽しくなります。ちようど遊びが盛り上がってきた頃に帰る時間が来てしまうので、生徒も残念そうです。本当は出し物ではなく、自由に遊ばせてあげたい

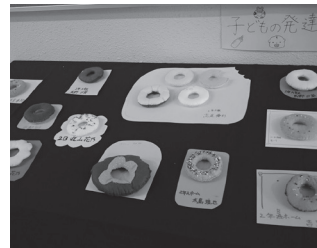


▲子どもたちの前でクイズ

と思うのですが、授業の時間は変えられませんが、朝の時間帯の別の授業では、もっと自由に遊べます。

たまに保育室に入れない生徒もいます。廊下で話を聞くと、小さいときに怖い経験をしたことなどを話してくれます。保育士さんも優しく見守ってくれます。短い実習で物足りなかつた生徒にはボランティアで土曜日や夏休みなどに保育園に行くことを勧めています。毎週通って保育士さんに応援してもらい、専門学校に合格した生徒もいます。

保育実習の前にはフェルトのおもちゃ作りをしています。去年はドーナツ、一昨年はケーキ、その前の年はお手玉を作りました。10月の文化祭で展示し、保育園に持っていきます。去年はコロナの影響で実習に行けなかつたので、NHK「プロフェッショナル 仕事の流儀」で保育士を取り上げた回の録画を見た



▲フェルトのドーナツ



▲フェルトのケーキ

り、絵本作りをしたりしました。百円ショップの6ページほどの白紙の本を買い、生徒に自由に作ってもらいました。出来上がった本はみんなの前で読んでもらい、見た人は小さな紙に感想を書いて作者に渡しました。自分で読むのが恥ずかしい生徒は、他の生徒に読んでももらいました。印象に残っているのは、猫が主人公で「人間ですてき！言葉があるから」という作品でした。作者はコミュニケーションが苦手な男子で絵を描くことにも苦勞していましたが、猫の表情がかわいくて、せりふにもジーンとしてしまいました。

他には妊婦体

験、赤ちゃん抱

っこ、季節の壁

画の製作、リズ

ム遊びなどをし

ています。妊婦体験はエプロンをするると本当

の妊婦さんに見えるので、職員室に行つて担

任に見せたり、写真を撮つてもらつたりする

生徒もいます。赤ちゃん人形には二人一組で

名前をつけて、抱っこしてミルクをあげたり、

着替えさせたりします。授業中ずつと抱っこ

している生徒もいます。

2月のお楽しみはアンパンマンクッキー

作りです。クッキー生

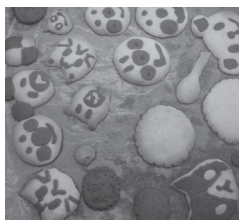
地を丸めて顔を作り、

ココア生地で目鼻等を

作ります。器用な子は

ばいきんまんやドキン

ちゃんなども作ります。



▲アンパンマンクッキー



▲妊婦体験

焼けると1枚ずつラッピングして持ち帰ります。友達にプレゼントする生徒もいます。

保育士になりたい生徒は毎年数名いて、卒業後は主に保育の専門学校に行きます。男子

も毎年います。名門の専門学校にも以前より

入りやすくなっているような気がします。生徒の要望で「鍵盤演奏」という科目ができ、

音楽の先生がピアノを教えています。家庭科

室にもキーボードがあるので生徒が使えるよ

うにしています。やはりピアノは初心者にと

っては、とても難しいようです。専門学校は

授業料が高いので昼間働いて二部(夜)の学

校に通う生徒もいますが、昼も夜もで体力が

もつ心配です。

チャレンジスクールの生徒の家庭環境は複

雑で、心に傷を負っていたり愛情に飢えてい

たりする子も少なくありません。そんな生徒

たちに寄り添って、これからも保育のことを

学んでいきたいと思っています。